

令和5年度栃木県立大田原東高等学校保護者アンケート分析

令和5年12月実施

・配付数46、回収数32、回収率69.6%(昨年80.5%)

		A あてはまる	B ややあてはまる	C あまりあてはまらない	D まったくあてはまらない	E よくわからない
項目		A+B \geq 70%	C+D \geq 15%	E \geq 15%	分析(対応)	
学校運営	1 本校は、教育目標や努力点、学校行事などの情報提供をよくしている	84.4%			「大東高だより」の配布や授業公開により、これまで以上に本校を知る機会を増やすことができた。特に授業公開では多くの方に来校いただき、本校の現状と課題を共有することができた。また、中学生とその保護者については9名来校と例年より多く、本校が目指す教育活動を知らせる機会となった。	
	2 本校は、開かれた学校づくりに取り組んでいる	84.4%				
	3 本校は、いじめの早期発見、再発防止によく取り組んでいる		18.8%	25.0%	いじめ事案の有無にかかわらず、本校の取組を入学式や保護者懇談会等において説明し、理解と協力を依頼する。	
教職員	4 本校の教職員は、生徒の相談に丁寧に対応してくれている	78.1%			毎月一度の情報交換会をとおして、教員間における生徒情報の共通理解を図り、全教員で生徒を指導する体制を目指す。学校生活で気になる点などはこまめに保護者に連絡することで、保護者との信頼関係を構築する。	
	5 本校の教職員は、保護者の相談に丁寧に対応してくれている	75.0%		15.6%		
学習	6 授業は、丁寧で分かりやすいと聞いている		31.3%		少人数教育の利点を生かし、個に応じた教育活動の充実を図る。またICT機器を有効に活用して個別最適な学びや、生徒の学習意欲を喚起する対話的な学びになるよう授業改善に努める。	
	7 授業は、生徒の興味関心を引くように工夫された内容だと聞いている		28.1%			
進路	8 進路に関する適切な情報提供が行われている		18.8%	28.1%	進路ガイダンスや、キャリア教育講演会など、様々なキャリア教育関連行事や、労働法の基礎知識を学ぶ労働講座を実施した。地域の企業の話を行うことで地域貢献のあり方や職業観、勤労観を育てる機会を設けることができた。これらの取り組みを面談等を通して保護者に伝え、共通理解のもとで進路決定を行っていく。	
	9 生徒一人一人の状況をよく理解し、適切な進路指導が行われている			28.1%		
生徒指導	10 欠席・遅刻指導や頭髪・服装指導など日々の生活指導は適切である	84.4%		15.6%	こまめな情報提供をするなど保護者との連携を図り、基本的な生活習慣を習得できるよう指導に努める。	
	11 生命尊重、交通事故防止など適切な安全教育がなされている	75.0%		21.9%	倫理的・道徳的指導を実践しつつ自他の生命を尊重し安全を確保できるような意識の高揚を図る。	
行事	12 行事を通じて生徒に多様な体験活動をさせる工夫がなされている	81.3%			様々な学校行事を実施し、生徒の連帯感や帰属意識の醸成を図った。今後も生徒に特別活動の意義や目的を理解させながら学校行事の充実を図る。	
環境	13 学校内は、清掃がよく行われており、整然としている	75.0%		15.6%	大女高と連携し教室の整備を行った。今後も、教室の美化及び環境整備の徹底を図る。	
その他	14 子どもは、明るい充実した学校生活を送っている	75.0%	18.8%		生徒がやりがいを感じながらいきいきと学校生活を送れるよう、工夫改善を図りながら学校づくりに努める。	